

平成 21 年度日本認知症ケア学会・読売認知症ケア賞「奨励賞」

特定非営利活動法人語らいの家（とくていひえいりかつどうほうじんかたらいのいえ）

【設立年月日】2001 年 2 月（1999 年 3 月 7 日開所）

【授賞理由】

世田谷区において行った生活マップを作成するという活動は、認知症の人々や家族に買い物という生活の基本を保証するものだった。まさしく認知症や障がいをもつ人たちが安心して生活できる場を得るという夢を実現するものである。その活動に対し本賞を贈るとともに、今後の更なる活動を期待し本賞を授与するものである。

【施設・団体概要】

- | | |
|------------|--|
| 1999 年 3 月 | 地域の高齢者・中途障害者の支援の場として、坪井信子と 2 名のボランティアで活動を始める |
| 1999 年 4 月 | 「ミニデイホーム語らいの家」活動開始 |
| 2001 年 2 月 | 「特定非営利活動法人語らいの家」の認証を受ける |
| 2002 年 8 月 | デイホーム語らいの家として指定通所介護事業所開設 |
| 2004 年 9 月 | 「グループホームかたらい」開設 |
| 2005 年 4 月 | 「ヘルパーステーションかたらい」開設 |
| 2008 年 4 月 | 「共用デイかたらい」開始 |
| 2008 年 7 月 | 「ケアステーションかたらい」開始 |

【事業活動等】

- ・ ミニデイサービス事業 2000 年～
- ・ 食事サービス活動（夕食の宅配）2000 年～
- ・ 宿泊サービス（通所介護におけるショートステイサービス）2006 年～
- ・ 介護者支援事業（家族相談会）2002 年～
- ・ 地域支援事業（認知症予防プログラム・回想法）2007 年 ～
- ・ 介護予防事業（筋力アッププログラム）2007 年～
- ・ 介護保険事業（通所介護，認知症対応型共同生活，訪問介護，居宅介護）

【社会貢献】

1. 2002 年 5 月～2003 年 3 月

世田谷区民（65 歳以上）に対して「地域における痴ほう予防プログラム」を世田谷区砧地域内鎌田地区の「食事サービスサポートセンター」にて開催。

協力者 東京都老人総合研究所 痴ほう介入グループ
世田谷区砧保健センター 保健師
世田谷区社会福祉協議会所属ミニデイグループ

NPO 法人世田谷リンクグループ

内 容 地域の高齢者に認知症予防を目的として料理，旅行（計画），パソコンプログラム，体操を週 1～2 回行なった。

効 果 高齢者の閉じこもり防止，仲間づくり（交流）が行なわれ，プログラム終了後も自主活動に移り 7 年経った現在もサロンという形で継続している。

世田谷区内の他地域にも同活動が広がり，現在では約 25 グループが継続的に活動を行なうことにより，高齢者の閉じこもり防止，交流の効果が確実に表れている。

2. 2007 年，2008 年 東京都「認知症支援拠点モデル事業」の開催

世田谷区内認知症の人及び高齢者に対して，たとえ認知症になっても地域で安心して暮らし続けることが出来るように 3 つのプログラムを実施。

1) 「あんしん生活マップ」の作成

祖師谷商店街において認知症の人やその家族が安心して買い物を出来るように協力商店街を掲載したマップ及び商店に貼るしんせつシールの作成，マップ作成協力者

- ・ 2007 年に開催した認知症サポーター養成講座にて募集したボランティア 8 名
- ・ 「あんしんすこやかセンター（地域包括支援センター）」職員及び商店街会長や商店主

上記協力者と一緒に商店街を回り，各商店に認知症の人が安心して買い物が出来る目印としてのシール掲示の依頼を行なう。その後掲示商店をマップに掲載することで，商店の PR も兼ね，又認知症の人やその家族，障害者もマップを見ることによって商店を選ぶことに役立っている。

2) 「サロン日ようび」の開催

家族にとっては日曜日こそ休養をとったり，買い物を行なう時に，時間で気軽に認知症の人が滞在できる「場」の必要性を感じ，休業のデイサービスを使い必要度の高い人の利用のためにサロンを開催。当初の利用者は少なかったが，2 年目に入るとその必要性によりすこやかセンターの宣伝もあり毎回 4～5 回名の利用者となったが，利用者のほとんどは認知症中度から重度の人で家族は毎日の介護で疲弊しており日曜日でもデイサービスを利用したいという目的の人が多く，たいへん喜ばれた。

3) 「家族相談会」の開催

毎月 1 回専門の医師がアドバイザーとなり認知症の人を支える家族の悩みを聞くことにより在宅での生活を支えることを目的とした。

介護者は病院では時間を掛けて相談できないことが多いが，この家族相談会においてはゆっくりと病院では質問できないことも，安心して，気軽に専門的なことを相談できる。